

# 岩手県感染症週報

平成 15年第 48週（11月 24日～ 11月 30日）

岩手県結核 感染症情報センター

## 第 48週の概要

### 1 類感染症

- ・患者発生の報告はありませんでした。

### 2 類感染症

- ・久慈地区から細菌性赤痢の報告が 1 例ありました。

### 3 類感染症

- ・久慈地区から腸管出血性大腸菌感染症の報告が 1 例ありました。

### 4 類感染症（全数把握対象疾患）

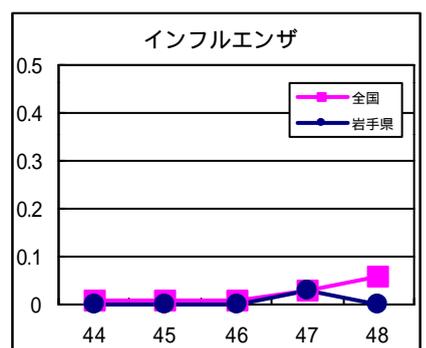
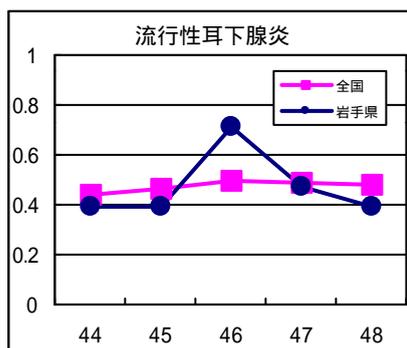
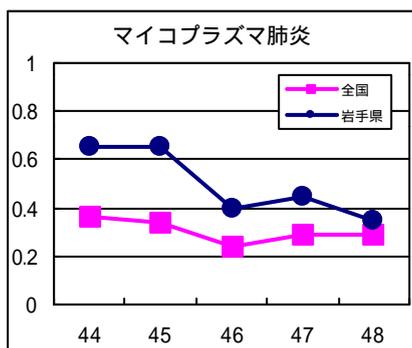
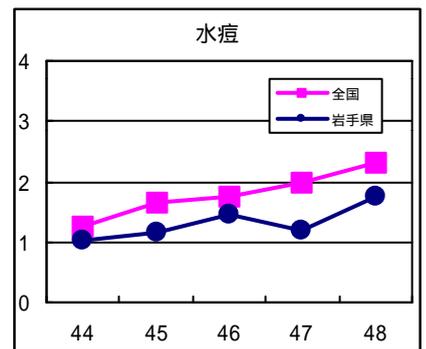
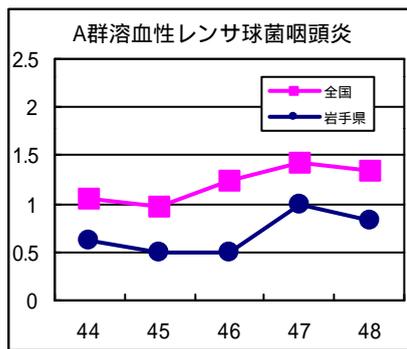
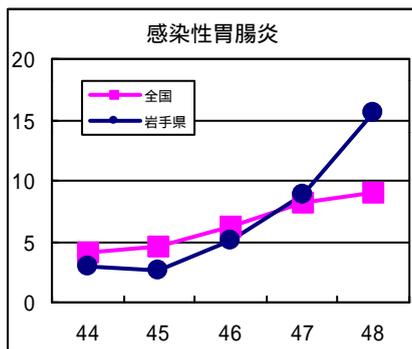
- ・盛岡地区から後天性免疫不全症候群の報告が 2 例ありました。

### 4 類感染症（定点把握対象疾患）

- ・感染性胃腸炎が県央地区で急増しました。特に北上地区では、この週の定点あたり患者数が 63.0 と、ここ数年で最大の患者数を記録しました。このほとんどがウイルス性胃腸炎とみられています。その他の地区では、盛岡地区（同 17.3）、花巻地区（同 23.7）水沢地区（同 10.3）一関地区（同 12.0）久慈地区（同 13.5）と、主に県央地区で流行が拡大しています。患者の年齢層は依然として 1～3 歳が多くなっています。感染の予防には、よく手を洗うことが大切ですが、患者のおむつや、汚物処理の際の消毒も大切です。
- ・前週、花巻地区で患者が多かった溶連菌感染症は、この週には減少しました。その他の地区では、大船渡地区で患者が増加しています。
- ・インフルエンザは、関東地方を中心に患者が発生し始めており、札幌市や山形県では、患者から A 香港型インフルエンザウイルスが検出されています。お年寄りや小さな子供、免疫力が低下するような基礎疾患のある方は、感染が重症化する可能性が高いので、早めの予防接種が必要です。

## 最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去 5 週の動き）

（疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意）



定点把握対象疾患（過去5週の動き）

（定点あたり患者数）

疾病名	地域	週					流行傾向	
		44	45	46	47	48		
インフルエンザ	岩手県	0	0	0	0.03	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.03	0.06		
咽頭結膜熱	岩手県	0	0	0	0.03	0.03	→	
	全国	0.17	0.15	0.18	0.25	0.24		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	0.63	0.5	0.5	1	0.82	→	
	全国	1.05	0.98	1.25	1.42	1.34		
感染性胃腸炎	岩手県	3.03	2.61	5.13	8.89	15.63	↗	
	全国	4.13	4.51	6.16	8.16	9.04		
水痘	岩手県	1.03	1.16	1.45	1.18	1.74	↗	
	全国	1.24	1.64	1.76	2	2.31		
手足口病	岩手県	2.21	1.95	1.32	1.05	0.66	↘	
	全国	0.62	0.54	0.54	0.59	0.46		
伝染性紅斑	岩手県	0.13	0.13	0.26	0.08	0.05	↘	
	全国	0.19	0.18	0.2	0.27	0.22		
突発性発疹	岩手県	0.45	0.29	0.47	0.63	0.61	→	
	全国	0.71	0.67	0.72	0.77	0.71		
百日咳	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01		
風疹	岩手県	0	0	0	0.03	0	→	
	全国	0.01	0	0.01	0.01	0.01		
ヘルパンギーナ	岩手県	0.24	0.18	0.03	0.21	0.16	→	
	全国	0.13	0.11	0.11	0.1	0.09		
麻疹（成人麻疹を除く）	岩手県	0.03	0	0	0.03	0.03	→	
	全国	0.01	0.01	0	0.01	0.01		
流行性耳下腺炎	岩手県	0.39	0.39	0.71	0.47	0.39	↘	
	全国	0.44	0.46	0.5	0.49	0.48		
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.03	0.02	0.02	0.03		
流行性角結膜炎	岩手県	1.17	1.58	1	0.17	1.25	→	
	全国	0.82	0.84	0.9	0.84	0.8		
急性脳炎（日本脳炎を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0	0	0	0		
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.02	0.02	0.01	0.01		
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.04	0.06	0.04	0.04	0.03		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.65	0.65	0.4	0.45	0.35	→	
	全国	0.36	0.34	0.24	0.29	0.29		
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0		
成人麻疹	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0	0	0.01		

【流行傾向の見方】

- 無印 : ほとんど患者が発生していません
- : 患者が発生しています
- ↗ : 警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ↘ : 多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患（過去5週の動き）		(患者発生数)							
分類	疾病名	岩手県					全国		
		(週) 44	45	46	47	48	累計	48	累計
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類 感染症	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	22
	細菌性赤痢	0	0	0	0	1	11	3	433
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	2	58
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	36
	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0	
三類	腸管出血性大腸菌感染症	2	0	0	0	1	50	76	2473
四類 感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	3	6	460
	エキノкокクス症	0	0	0	0	0	0	0	17
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	1	0	41
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	急性ウイルス性肝炎	0	0	0	0	0	12	2	609
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	8
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	8
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	1	0	0	0	2	1	104
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	50
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	2	3	9	844
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	1
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	1	94
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	17
	先天性風疹症候群	0	0	0	0	0	0	0	1
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	ツツガムシ病	0	0	0	0	0	6	14	220
	デング熱	0	0	0	0	0	0	0	31
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	49
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	1
	乳児ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	梅毒	0	0	0	0	0	4	3	428
	破傷風	0	0	0	0	0	0	0	65
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	1	57
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	0	
発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0	
マラリア	0	0	0	0	0	0	1	72	
ライム病	0	0	0	0	0	0	0	5	
レジオネラ症	0	0	0	0	0	0	0	132	
ウエストナイル熱	0	0	0	0	0	0	0	0	

本年11月5日に感染症法が改正されたことに伴い、調査対象疾患が一部改正されましたが、本週報では当面の間、改正前の分類による情報をお届けします。  
できるだけ早い時期に、新しい分類による情報をお届けするよう準備していますので、ご了承ください。

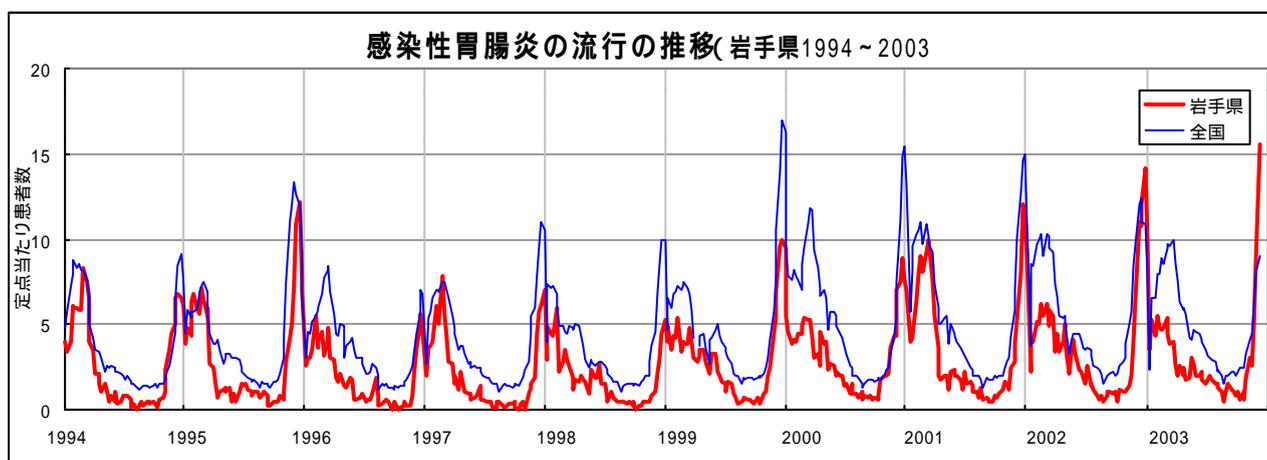
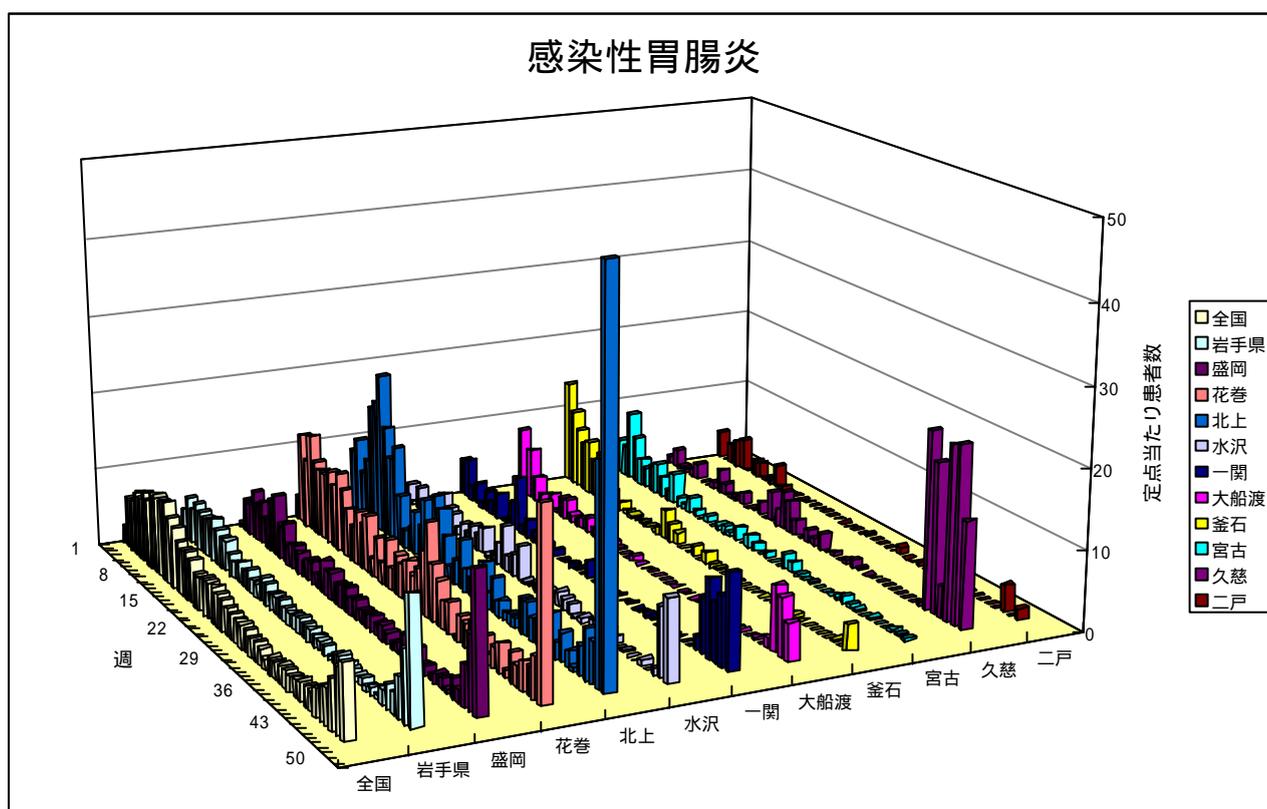
今注目の感染症

感染性胃腸炎

冬季における小児の感染性胃腸炎は、ノロウイルス（以前はS R S V（小型球形ウイルス）、ノーウォーク様ウイルスなどと呼ばれていました）とロタウイルスの2種類のウイルスが重要な病原体です。感染性胃腸炎の流行曲線は12月にみられる比較的シャープなピークと1～3月にみられるなだらかなピークとからなりますが、前者の多くはノロウイルス、後者の多くはロタウイルスによるものと考えられています。

この週には、今シーズン2例目のノロウイルスによる胃腸炎の集団感染事例がありました。この時期には、全国でも各地で集団感染事例が頻発しています。

これらのウイルスは食中毒菌のように食品中などでは増えませんが、感染力が強く、院内、家庭内あるいは集団内での二次感染の防止対策が重要です。



## 病原体検出情報

- ・ヘルパンギーナの患者の咽頭拭い液から、コクサッキーA群ウイルス4型を1例分離しました。
- ・上気道炎の患者の咽頭拭い液から、コクサッキーA群ウイルス4型を1例分離しました。
- ・急性扁桃腺炎の患者の咽頭拭い液から、アデノウイルス2型を1例分離しました。
- ・無菌性髄膜炎の患者の便からエンテロウイルス71型の遺伝子を1例検出しました。

## 集団感染情報

11月24日にA小学校で開催されたスポーツ行事へ参加した、4小学校の児童及び家族に腹痛、嘔吐等を主症状とする急性胃腸炎の集団発生がありました。

記

### 発生概要

一関保健所等が調査を実施したところ、次のとおりです。

- 1 発生日：11月25日（火）7時から26日17時
- 2 主症状：腹痛、嘔吐
- 3 参加校：一関保健所管内3校、水沢保健所管内1校
- 4 スポーツ行事参加者数：160人（92人）（11月28日現在）  
有症者数：73人（59人）（ ）内は児童数（再掲）
- 5 病因物質：ノロウイルス遺伝子型II型
- 6 スポーツ行事に参加していない児童への二次感染（疑い）も確認されています。
- 7 感染経路は一関保健所等の詳細な調査にもかかわらず不明です。

## 医療機関からの情報

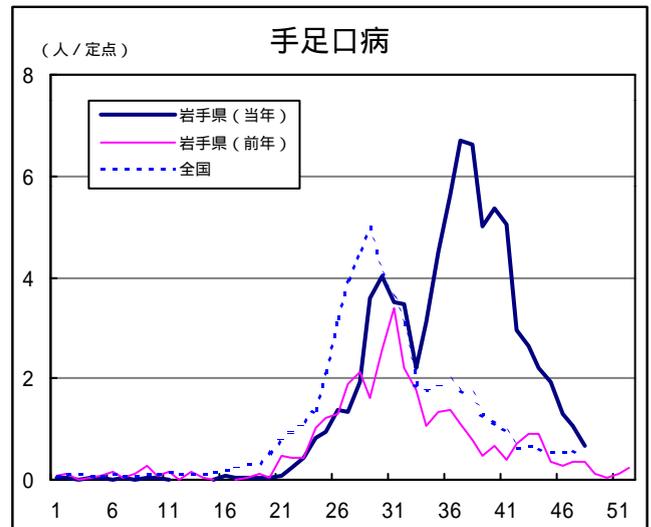
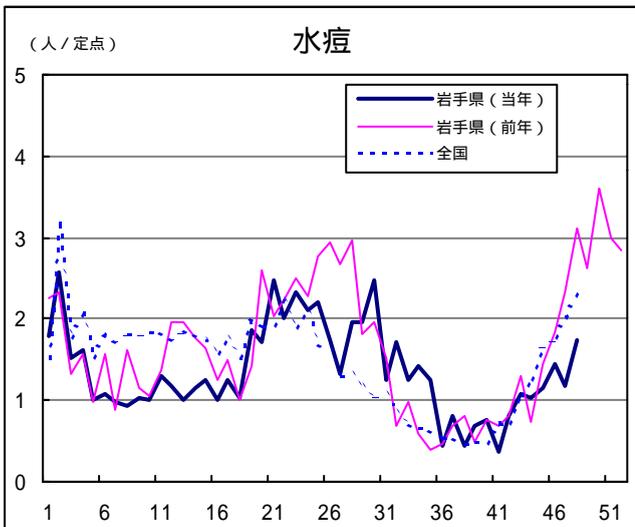
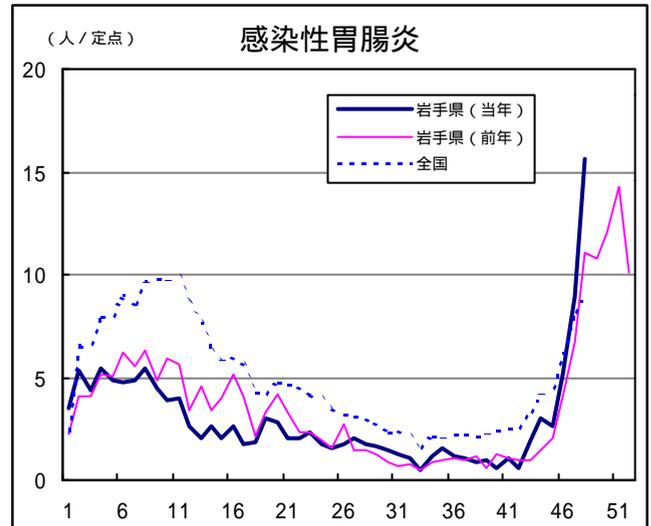
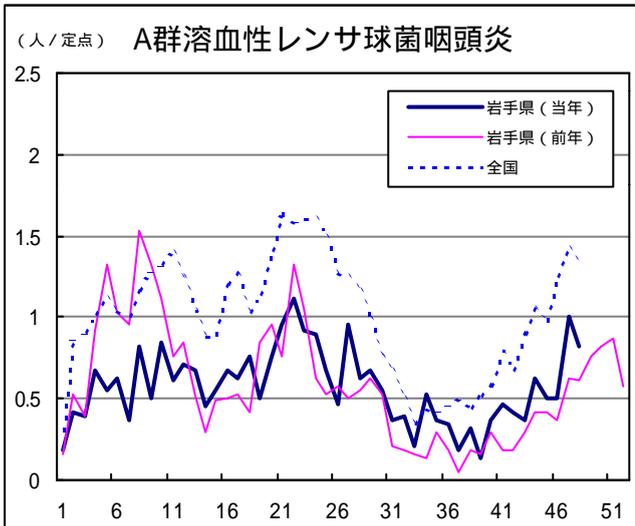
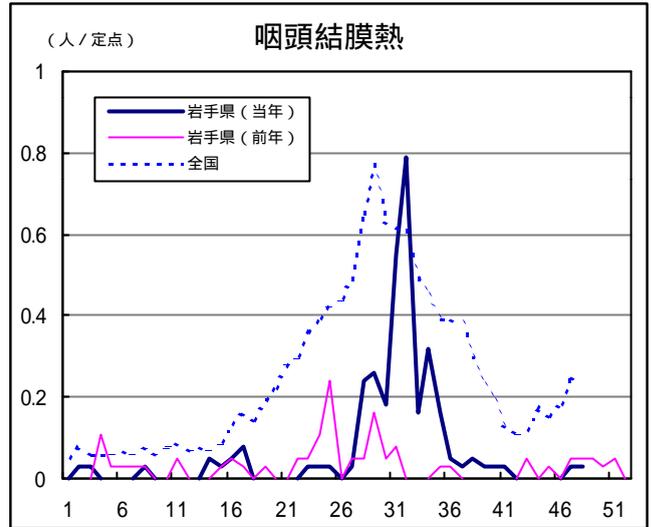
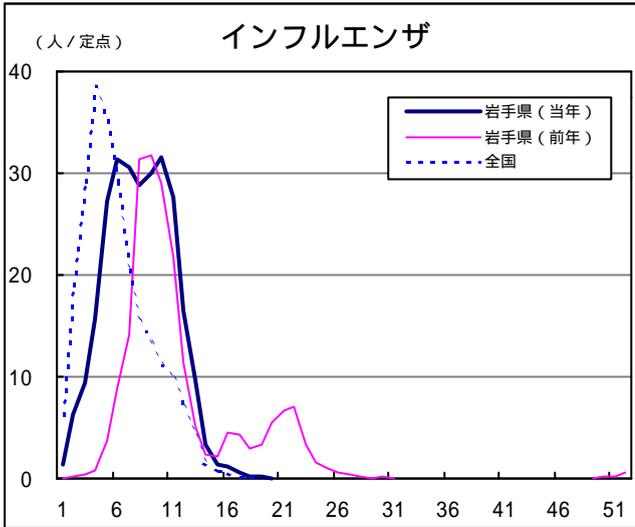
- ・今週寄せられた情報はありません。

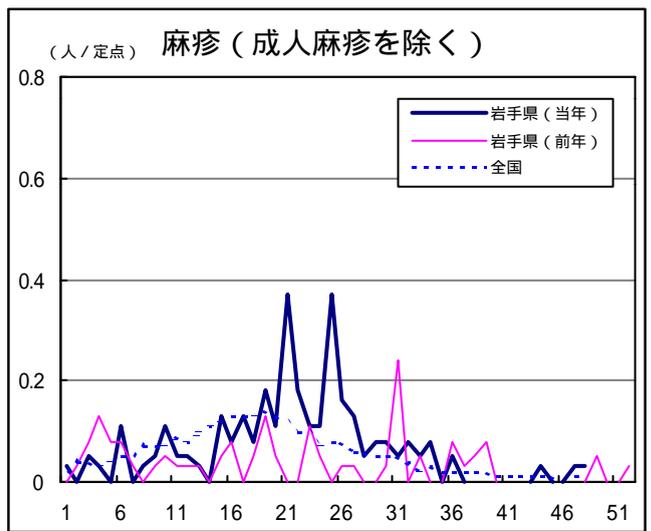
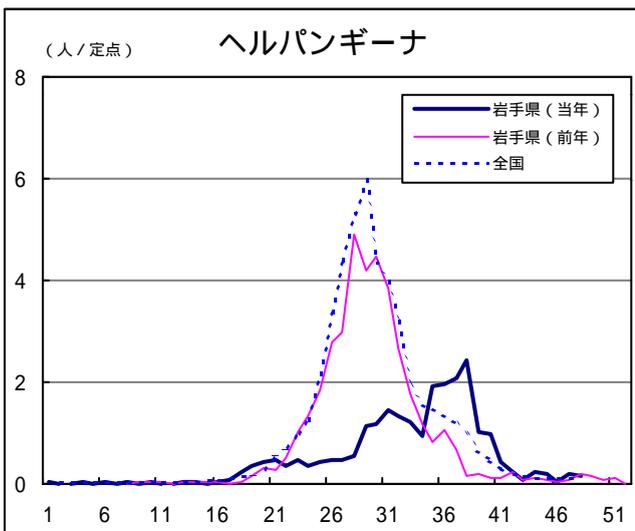
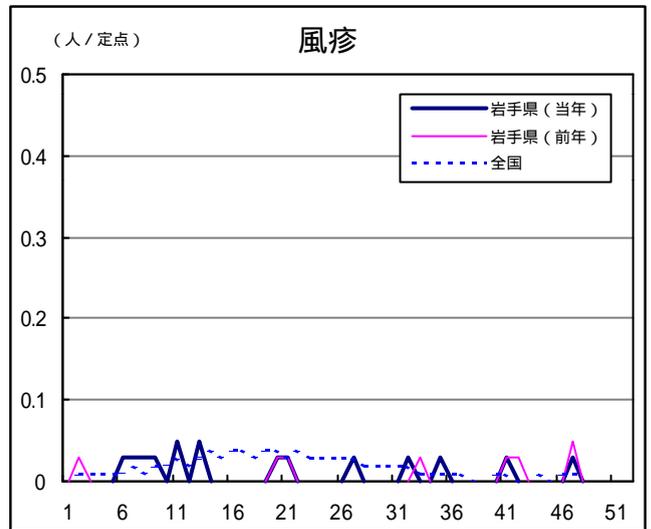
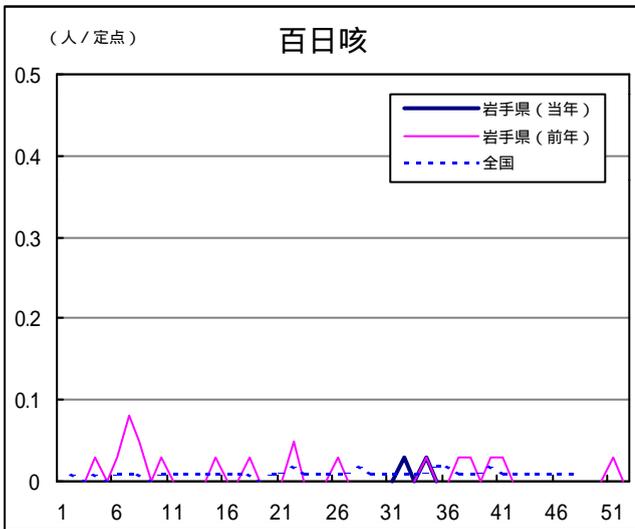
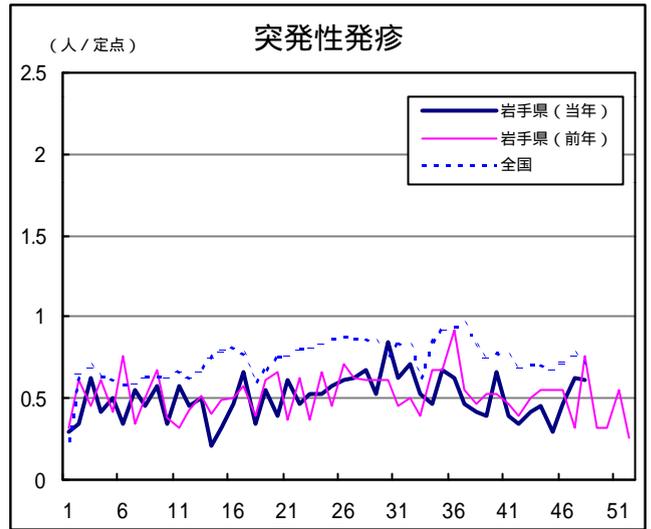
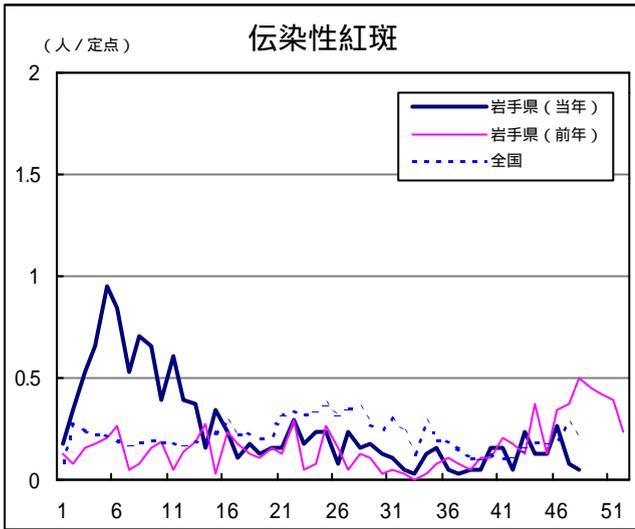
## Q & A

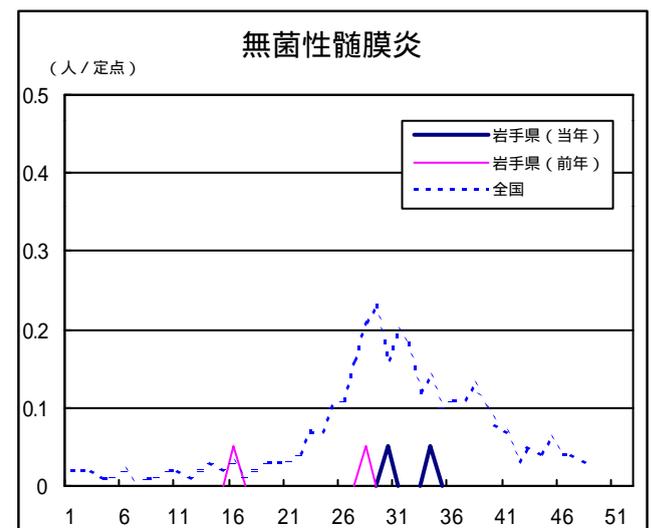
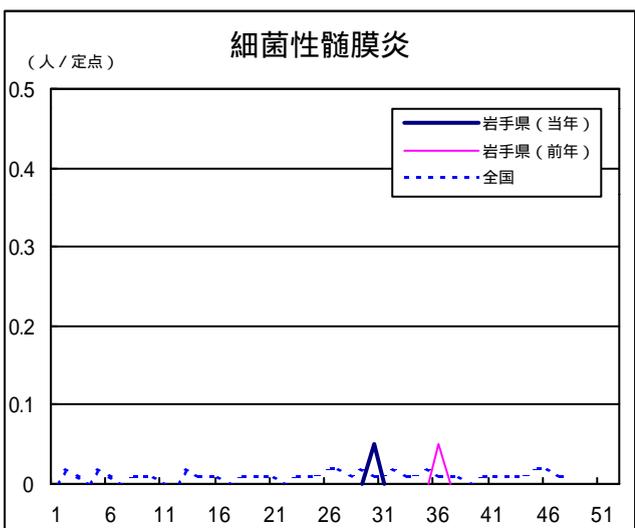
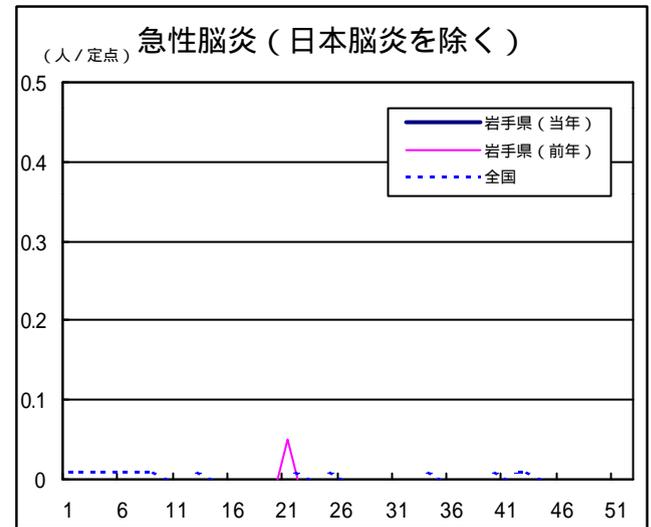
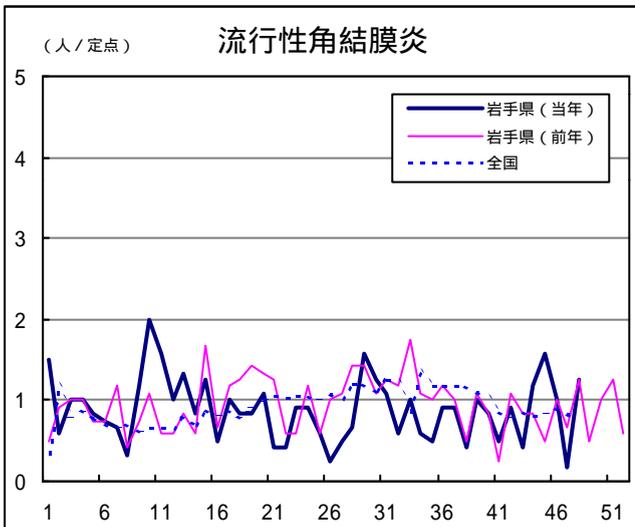
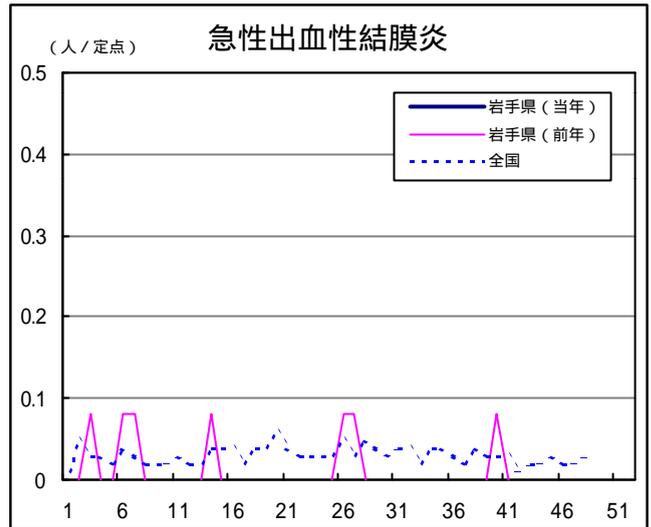
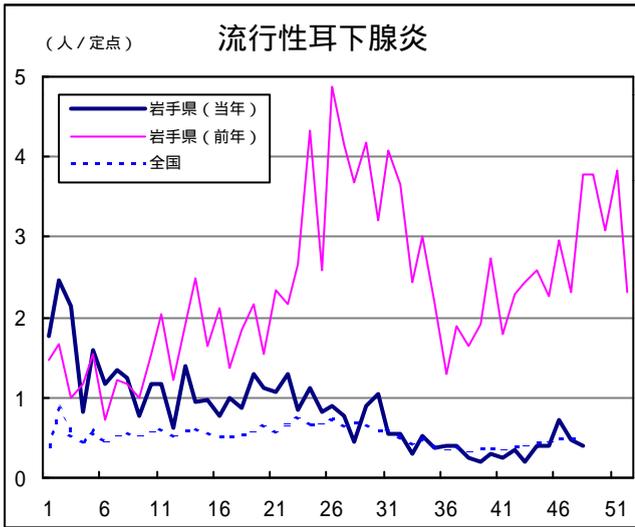
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

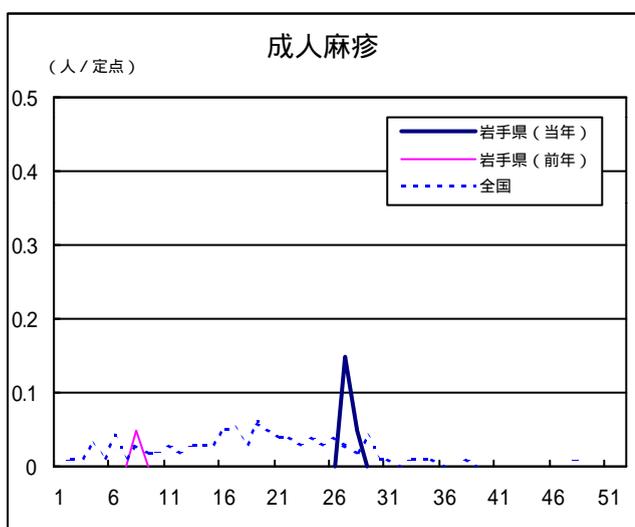
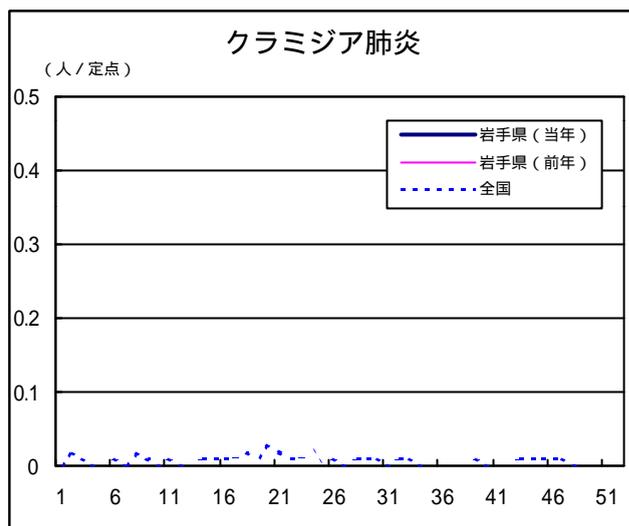
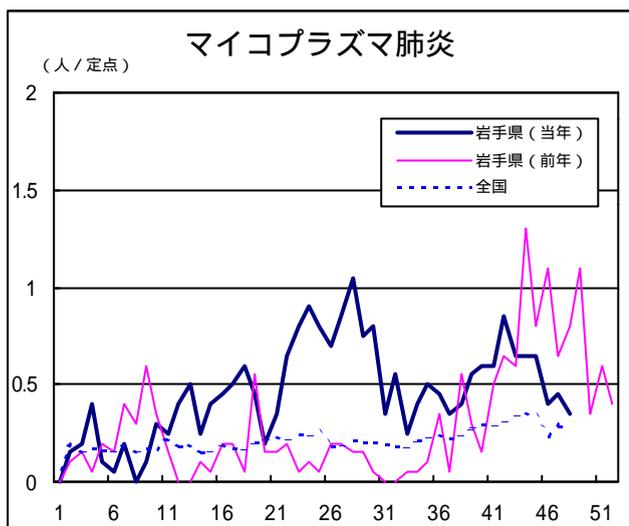
医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記宛先までお寄せください。  
岩手県結核・感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）  
〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1  
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667  
E-mail:CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ（定点あたり患者数の推移）









定点医療機関の数

地区	インフルエンザ	小児科定点	眼科定点	基幹定点
岩手県	62	38	12	20
盛岡	17	11	3	5
花巻	5	3	1	2
北上	5	3	1	2
水沢	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	5	3	1	1
釜石	5	3	1	2
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする  
**「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」**を配信しています。  
 配信の登録は以下のURLからお願いします。  
<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成15年第48週 平成15年12月6日発行  
 監修：岩手県結核・感染症発生動向調査委員会  
 発行：岩手県環境保健研究センター  
 岩手県保健福祉部保健衛生課  
 事務局：岩手県結核・感染症情報センター  
 （岩手県環境保健研究センター保健科学部内）  
 〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1  
 TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667  
 E-mail: CC0019@pref.iwate.jp  
 URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>  
 <岩手県結核・感染症情報センター>  
<http://www.pref.iwate.jp/~hp0360/>  
 <岩手県保健福祉部保健衛生課>